

2017年度 日本財団助成事業

自閉症／発達障害児者が自分を好きになれる療育支援施設づくり(新設)と運営

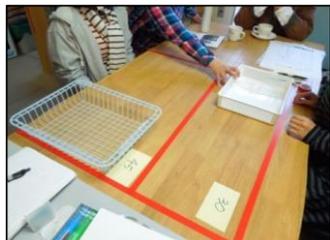
発達障害児者が自分を好きになれる療育支援施設を新たに確保し、
早期療育及びグループ活動による療育の充実を図り、
共に生きる社会の実現を目的とする。

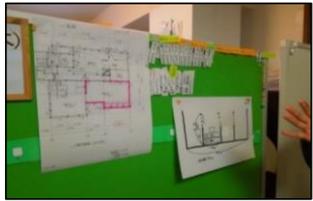
新活動拠点確保のための ワークショップ・現地取材記録

前年度より、全職員による新活動拠点の確保に向けたワークショップを実施し、花京院での活動について、エリアごとに曜日・時間帯・職員と利用者の配置の確認、既存の備品や書類・療育教材等すべての荷物の把握などを行った。

2017年度、本事業活動目的のもと、全職員によるワークショップの継続と現地取材を計画的に行い、新活動拠点の確保に向けて理事・職員・会員が一丸となって取り組んだ。

全職員ワークショップ（4月～8月）

期間	設備・備品など	物品探し・引越し準備など
4月	<p>◆候補地と近隣の情報（写真など）を再度共有。</p> <p>◆ロフトの壁／安全面を考慮し、また、子供が1階から見上げて気持ちにならないように柵ではなく壁にする。</p> <p>◆（療育室1）自立課題コーナー ①自立課題ブースの数／使用する子供の数や時間帯、広さを考慮して4ブースに決定。 ②机／課題カゴの設置や子供の作業性を考慮して、サイズを決定。作り付けにせず、市販のものを設置し撤去できるようにする。余暇支援で、個別スペースとして使う場合（寝転がってリラックスするなど）は机とイスを撤去する。プライバシーと安心感の確保のために、仕切りのスライド部分を伸ばしてスペースを作る。 ③イス／子供の身長に合わせてすぐに対応できるものを協議。イスの高さは固定しておき、3段階に調整できるクッションを提案。その他、処分台数と購入台数を確認。 ④パーテーション（ブースの仕切り）／可動式で、固定部分とスライド部分に分け、汎用性を持たせる。机使用・不使用のそれぞれの場合を考慮してサイズを決定。 ⑤机の前面の柵／課題カゴを置く柵は設置しない。活動に応じて机を使えるように、可動できるレターケース等を活用する。</p>	<p>◆自立課題コーナーの机（市販）を探し始める。軽くて移動が楽にでき、ipadがくっつかないように材質は木にする。</p>
5月 ～6月	<p>◆（療育室2） おやつコーナーの扉／おやつを食べる子供と、療育室で活動する子供それぞれが、お互いの様子を気にせず自分の活動に集中できるように、扉で仕切る。扉は引き戸で、上部は透明な強化ガラスにして職員が内外から子供の様子を確認できるようにする。</p>	<p>◆引越し業務について、事業ごとに担当職員を決定。また、引越し荷物の整理について、花京院の部屋ごとに担当職員を決定。</p>
	<p>◆（療育室1・3） 吊り棚／療育活動時に職員が使用する文具類、使用前後の課題カゴなどを置く。子供の手が届かない高さにする。棚の下は有効活用する（療育室1では可動式パーテーション置き場、療育室3では子供の荷物収納ロッカーを設置）。</p>	<p>◆ボランティアの呼びかけ（荷物運搬、清掃、片付けなど）について協議。</p>
	<p>◆（療育室3） イス／形状と数を協議、確認。多目的室として、サロンや研修会などで大人が使用することも考慮。</p>	<p>◆旭ヶ丘で、学校やご近所との関係性作りを大切にしていけるよう話し合い。</p>
	<p>◆扉／安全面と不要な開閉を避けるために鍵の形状について協議。また、子供と大人のエリアが分かるように、色分けすることを決定。</p>	<p>◆寄付者プレートについて協議、試作品を作る。</p>
	<p>◆冷暖房／各部屋のエアコンの位置を協議、FF暖房（ガス）の安全性を共有。</p>	
	<p>◆備品の収納場所について／職員室、教材室、療育室3、おやつコーナーに収納する備品（パソコン、プリンター、プロジェクター、冷蔵庫など）を確認。</p>	
		 

7月 ～8月	◆職員室、教材室、事務局の什器の配置について／事務机やキャビネット、プリンターなどの配置について、物品の大きさを縮小した紙を図面に配置し、動線などを確認しながら協議。	
	◆（各部屋）建具の色や施錠・ガラス面の形状などを再確認。	

現地取材（9月～12月）

9月から12月まで週に1～2回、現地・近隣情報の取材を実施。ファイリングして職員が共有した。
取材時は、毎回定点3か所から建物の写真撮影をした。

期間	現地取材	現地の様子
8月	現地の取材方法について、ポイント、記録の仕方を協議、決定。取材チーム編成、スケジュール、記録シート作成の準備を行った。	
9月	現地取材開始。 車、地下鉄など移動手段による時間、安全面、道順などを記録。 近隣の公共施設、郵便局、医療機関、スーパー、コンビニ、コインパーキングなどの確認。 スーパーやコンビニ、薬局の品揃え、トイレなどを確認。	
10月	近隣の小さな公園、台原森林公園などを散策、情報収集。事業所または駅からの所要時間、安全面などを記録。 町内会、近隣へのご挨拶について話し合い。 事業所から徒歩で行けそうな飲食店の情報収集。（子供のサークル活動や、保護者が近隣で過ごせる場所を想定）	
11月	近隣の道幅や、人の往来などの情報収集、交通安全のための配慮やマナーを確認、共有。 商店街の探索。 最寄り駅から事業所までの道のりを複数想定。道案内の仕方を共有。	
12月	台原森林公園、科学館の散策。 利用者への道案内の仕方を再度確認、共有。	

